

学 年	教 科	科 目	教科書名	副教材名
高 3 (特進)	地歴科	日本史研究	『詳説日本史』 (山川出版社)	『改訂版4ステージ演習ノート 日本史B』(数研出版)

1. 授業のねらい

- ① 日本の歴史の展開を総合的に考察し、歴史的思考力を培い、国際社会を主体的に生きる国際人としての資質を養う。
- ② 歴史を考察する基本的な方法を理解するとともに、歴史への関心を高め、歴史的な見方や考え方を身に付ける。
- ③ 史料・資料の読解力を養う。
- ④ 大学入試問題に対応できる基礎力を身に付ける。

2. 授業のすすめ方

- ① 『改訂版4ステージ演習ノート 日本史』(数研出版)を使用し、演習形式で授業を進めます。重要事項を板書します。日本史専用ノートを用意し、授業中の重要事項は必ず書き留めるようにしてください。
- ② 事前に予習(解答)して、解答したノートを写真にとり、ロイロノートで提出してください。授業で問題の要点を解説します。

3. 学習上の留意点

- ① 歴史は科学です。原因・過程・結果の積み重ねが、教科書にまとめられています。人物名・事件名・年号などを暗記することも大切ですが、歴史事象の背景を理解することによって、歴史的思考力を養うことができます。授業ではそのことを意識して臨んでください。
- ② 歴史(過去)を学ぶことによって、現在の問題(課題)を考え、未来(解答)を導き出す学問です。常に「なぜ」の問いかけを持つようにしてください。
- ③ 教科書をよく読んで、歴史の流れをつかむようにこころがけてください。
- ④ 山川出版社の『詳説日本史B』は多くの高校で使用され、大学入試問題作成者も参考にしています。大学入試問題はこの教科書から出題されるといっても過言ではありません。教科書の本文だけでなく、脚注・地図・図版・史料・写真などにも目を通しておくことが大切です。

4. 副教材・参考文献

- ① 『改訂版4ステージ演習ノート 日本史』(数研出版)、『詳説 日本史図録』(山川出版社)は、授業には必ず用意しておいてください。
- ② 授業の理解を高めるため、『日本史用語集』(山川出版社)の購入を推奨します。受験生の必需品です。
- ③ 確認用に『山川 一問一答日本史』(山川出版社)も推奨します。

5. 評価方法

- ① 定期考査3回(100点×3)・平常点(1学期20点+2学期10点)
- ② 平常点は授業中の態度を中心につけます。積極的に授業に参加する姿勢、発問に対する回答状況、ロイロノートの提出等を評価します。
- ③ 定期考査、平常点等に基づいて「知識・技能」、「思考・判断・表現」、「主体的に学習に取り組む態度」の3観点について学年末に評価します。

6. 定期考査

- ① 定期考査は授業内容等から主に出題します。毎回の授業に集中し、問題演習を繰り返しおこなってください。

7. 指導計画

期	月	単元名・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	四月	古代史問題演習	授業姿勢	大学入試に向けた問題演習を行い、実戦力をつける。
	五月	中世史問題演習	(実力テスト)	
	六月		中間考査	
	七月	近世史問題演習	授業姿勢 期末考査	
二 学 期	九月	近世史問題演習	(実力テスト)	大学入試に向けた問題演習を行い、実戦力をつける。
	十月	近現代史問題演習	(基礎学力到達度テスト)	
	十一月		授業姿勢 (実力テスト)	
	十二月	総合問題演習	(実力テスト) 期末考査	
三 学 期	一月 二月 三月			

※シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により省略や前後することもありうる。